

# 自然観察会 ミニ講座～生き物の調べ方～ 10月



◆事業目的：①学芸員と職員の知識を活かして、参加者に想像の意欲を掻き立てる。

②生き物の同定・写真の技術が身につくことによって、自然への興味が増す。

◆参加者数：6名

◆午前中の自然観察会から引き続き参加された方と新しいメンバーを加えて、今年度初の開催となりました。学芸員の吉田が行うミニ講座。今回は『植物の分類』です。中学校の授業では10時間以上かけて行う内容をたったの2時間で分かりやすく、楽しく解説しました。講話では資料に基づき、種子植物や孢子植物、双子葉と単子葉類、合弁花、離弁花など、なにやら習ったことのあるような言葉が出てきます。実際の花を見てみようということで、ルーペをもって管理棟周辺の花を観察します。「これは花が離れているから離弁花だ！」など、それぞれ真剣に花と向かい合っていました。室内に戻り、ハキダメギクをルーペで観察。「合弁花と離弁花どちらでしょう」の質問に満場一致で離弁花と答えましたが、花卉をよく観るとキク科の花は細かい花が集まっていて、その一つ一つは合弁花なのです。その解答に、深くうなずいた方も多いのではないのでしょうか。今後、花を観察する際は植物の分類から見てみるのも面白いかもしれませんよ。(文責：石川)

担当スタッフ：石川、吉田、高梨、鷺田